

ため池マン1万人大作戦目標達成!

ひょうご
ため池新聞

号外

第9回ひょうご水土里の
ふるさとフォーラム

兵庫県 農政環境部
農林水産局 農村環境室
ため池水利班
TEL: 078-341-7711
(内線 4022)
FAX: 078-362-9455
Email: nosonkankyo@pref.hyogo.lg.jp



「ため池保全県民運動」推進

県では、「ため池の保全等に関する条例」に基づき、ため池や疏水の適正な管理や、多面的機能の発揮の促進を図るとともに、地域の財産であるため池等が次の世代に引き継がれるよう「ため池保全県民運動」を促進しています。

ため池マン登場

条例の理念である「次世代への継承」に向け、NPO法人メダカのコタロー劇団は県と協働して、ため池保全の使命を帯びたキャラクター「ため池マン」を企画・制作し、ひょうごのため池はぼくたちが守る!ため池マン1万人大作戦を展開しています。

劇団は、児童とその保護者、学校関係者を対象に、アニメ紙芝居等を通じてため池や農村環境の役割や、それらを保全することの重要性について啓発活動に取り組んでいます。

ため池マン変身1万人

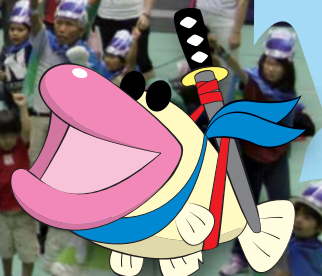
劇団は、この1年間で県内32校の小学校等を訪問し、神戸文化ホールやグリーンアリーナ神戸では親子自然環境学校を開催しました。

県内各地で、劇団とともにため池マンに変身した児童数も、このたび1万人を突破しました。

今後、「ひょうごのため池はぼくたちが守る!」を合言葉に、ため池

を守る大切さを伝えるため、ため池マンは兵庫県内の子どもたちのもとに参上します。

ひょうごのため池は
ぼくたちが守る!



平成28年 ため池保全県民運動 トピックス

第1回 ひょうごため池保全推進フォーラム開催



中瀬勲氏



意見交換の様子

明日から取り組むため池保全
 8月7日(日)、加古郡稲美町文化会館コスモホールで「第1回ひょうごため池保全推進フォーラム」を開催しました。猛暑の中、約700名のため池管理者の方々が参加しました。
 講演では、「ため池の保全等に関する全県検討会」座長の中瀬勲氏(兵庫県立人と自然の博物館館長)から、本県のため池保全活動がめざましくところについてお話していただきました。続いて、「明日から取り組むため池保全」をテーマに、ため池保全に関する4つの事例が発表されました。また、会場参加者と赤青のカードを使った意見交換も行いました。
 今回のフォーラムにより、適正な管理と多面的機能の発揮の促進について理解が深まり、各地で「ため池保全県民運動」が促進されることを願っています。

「淡路島ため池保全サポートセンター」開所

5月30日(月)、兵庫県と洲本市、淡路市、南あわじ市は共同で淡路島内のため池を対象とした、ため池管理者の適正な保管理活動を支援する「ため池保全サポートセンター」を開所しました。

センターの開所により、漏水など状況変化の確認や事前放流を普及することで、適切な補修が徹底され決壊などの被災を防ぐほか下流の洪水被害を軽減するなど、ため池が適正に管理され、地域の防災が図られることが期待できます。



サポートセンターではこんな活動をするよ!

ため池管理の相談

現地パトロール

助言・現場技術指導

普及啓発等

ため池保全県民運動 facebook 発信中!

<https://www.facebook.com/hyogo.tameike>

「facebook」や「ひょうごため池新聞」にご意見・ご感想をくださった方には「メダカのコタロー」グッズをプレゼント!

兵庫県内のため池に関するイベント情報や、様々なため池・疏水などを紹介しています!

【ご意見・ご感想はこちらまで】

兵庫県農村環境室 Email: nosonkankyo@pref.hyogo.lg.jp



ため池クリーンキャンペーン実施中

県では、毎年10月にため池保全のPRや、地域の人たちと協働で行うため池美化・保全活動の支援を「ため池クリーンキャンペーン」として行っています。

今年度で25年目を迎える本キャンペーンは、それまでため池管理者のみで実施してきたため池保全活動に地域住民の皆さんが参画する取組です。

県では、市町や関係団体と連携し、県民一人ひとりがそれぞれの立場で実践する「ため池保全県民運動」の一環として実施しています。近年では、「かいぼり」や「ウォーキング」と併せて実施するため池もあります。

今年度は、約300カ所のため池で12,000人の参加を予定しています。

